

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	事業地の障害児が車椅子で自由に移動できることによって、行動範囲が広がり、日常生活が改善されて、将来独立自立するための素地を育成助長することが出来る。
(2) 事業の必要性(背景)	<p>インドネシアの中部ジャワ州スラカルタ（ソロ）市を中心に活動している障害者支援団体 C B R（地域に根差したリハビリテーション）開発・訓練センターは障害者全体の 8 割を占める地方農村地域に暮らす障害者の支援が十分に行き届いていないことから、地域に根差して地域住民が一体となって障害者の問題を解決し自立して生活していける地域を作ろうという発想から 1978 年に設立された。これまでの都市部で施設中心のリハビリに代わる有効な手段として開発途上国で注目され、アジアで最も進んだ C B R 活動をしている。</p> <p>多様なリハビリ訓練、自立支援、教育さらには啓蒙活動を展開している。障害児の車椅子の必要性・緊急性は高く、現在ソロ市周辺での活動拠点（人口約 80 万人）には 5800 名の身体障害者がおり、3800 台の車椅子を必要としている。外国の慈善団体などから送られたことがあるが少量で品質も良くない。</p> <p>現地でも簡単な汎用の車椅子が作られているが、全く充足できていない。</p> <p>従って現地では子ども用車椅子を入手することは大変難しく、高価であり、日本から中古品を輸送した方がはるかに安く、治療に効果的な車椅子が供与できる。</p>
(3) 事業内容	<p>(イ) 車椅子の収集調達先： 首都圏の特別支援学校（16 校）PTA からの 150 台提供。</p> <p>(ロ) 車椅子の修理・整備： 日本で車椅子の修理整備を行う</p> <p>(ハ) 車椅子の輸送手配 （活動拠点福生市から海外供与先へ届くまで） コンテナ積、海上輸送、現地陸上輸送の手配 通関手続き・輸入免税処置は供与先が行う。 通関後当会が責任を持って受け取り、供与先まで届ける。</p> <p>(ニ) 引き渡し式、車椅子の配布。 関係者、障害児と保護者を招いて引き渡し式実施 引渡し後、理学療法士や専門家の指導で、それぞれ子どもの症状や発達状態に適合した車椅子を緊急度の高い障害児に対してセンターを通じて優先的に貸与する。</p> <p>(ホ) 現地受益者の実態視察、維持管理の確認</p> <p>◎供与先及び台数： C B R 開発・研修センター 活動拠点 9 カ所 合計 150 台 内訳 1, ソロ市 C B R センター 15 台</p>

	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">2. ストラゲン地区 C B R</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> <tr> <td>3. カランガンヤル地区 C B R</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> <tr> <td>4. クラテン地区 C B R</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> <tr> <td>5. ボヨラリ地区 C B R</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> <tr> <td>6. オノギリ地区 C B R</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> <tr> <td>7. グロボガン地区 C B R</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> <tr> <td>8. スコハルジョ地区 C B R</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> <tr> <td>9. テガル地区 C B R</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> </table>	2. ストラゲン地区 C B R	20	3. カランガンヤル地区 C B R	20	4. クラテン地区 C B R	20	5. ボヨラリ地区 C B R	20	6. オノギリ地区 C B R	20	7. グロボガン地区 C B R	20	8. スコハルジョ地区 C B R	10	9. テガル地区 C B R	5
2. ストラゲン地区 C B R	20																
3. カランガンヤル地区 C B R	20																
4. クラテン地区 C B R	20																
5. ボヨラリ地区 C B R	20																
6. オノギリ地区 C B R	20																
7. グロボガン地区 C B R	20																
8. スコハルジョ地区 C B R	10																
9. テガル地区 C B R	5																
(4) 持続発展性	<p>◎専門家（理学療法士、小児科医師）の指導で、車椅子に適合した子どもに供与し、子どもが成長し適合しなくなったら次の子どもに渡すことができる契約を保護者と交わす。</p> <p>◎また車椅子が長期的に使用できるように 破損や故障で不具合になったら、当会は施設の要請で補修修理のために必要な部品を無償で提供する。部品とマニュアルがあれば CBR センターの修理場で修理出来る。</p> <p>◎毎年モニタリングを行い、活用状況と効果の評価をする。</p> <p>◎車椅子が緊急に必要な障害児が多く、まだ十分充足されていないので、今後も継続的に供与して多くの障害児の福祉向上の発展に寄与する。</p>																
(5) 期待される成果と成果を測る指標	<p>◆障害児が車椅子を入手することで、自由に動け、外気や紫外線にあたることによって、肉体的・精神的に健康状態が改善される。</p> <p>◆寝たきりであった子どもが在位を保たれて骨や筋肉の発達を助けられる。座って容易に食べたり、飲んだり出来る。</p> <p>◆背負ったり、抱かずに治療のために容易に病院やリハビリセンターに行けるようになる。</p> <p>◆将来社会人として独立自活するための素地を育成助長することが出来る。</p> <p>裨益者数 直接的には、本案件により供与される車椅子を使用する障害児 150 名。なお将来的に供与された車椅子を使用する障害児が、体の成長に伴い、当該車椅子が適合しなくなった場合、他の障害児に引き継がれる。</p> <p>間接的には、障害児が車椅子を使用することによって、介助が容易になり、施設の職員や家族にとって負担が大幅に軽減される。</p>																